

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 21 年 4 月 30 日 (2009.4.30)

【公表番号】特表 2008-542511 (P2008-542511A)

【公表日】平成 20 年 11 月 27 日 (2008.11.27)

【年通号数】公開・登録公報 2008-047

【出願番号】特願 2008-515178 (P2008-515178)

【国際特許分類】

C 0 8 L 23/00 (2006.01)

C 0 8 K 3/34 (2006.01)

C 0 8 L 51/06 (2006.01)

C 0 8 J 3/22 (2006.01)

D 0 1 F 6/46 (2006.01)

D 0 4 H 1/42 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 L 23/00

C 0 8 K 3/34

C 0 8 L 51/06

C 0 8 J 3/22 C E S

D 0 1 F 6/46 A

D 0 4 H 1/42 K

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 3 月 10 日 (2009.3.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

下記成分：

(A) 結晶性又は半結晶性ポリオレフィン樹脂；及び

(B) 層化した無機物を含むナノサイズ充填剤

を含むポリオレフィンナノコンポジット材料であって、層化無機物の無機分の量がポリオレフィン樹脂 (A) 100 重量部当り 0.02 ~ 3 重量部であり、成分 (A) の溶融流量値 MFR (1) 対ポリオレフィンナノコンポジット材料の溶融流量値 MFR (2) の MFR (1) / MFR (2) 比は少なくとも 1.02 である、前記ポリオレフィンナノコンポジット材料。

【請求項 2】

成分 (B) が層状珪酸塩である請求項 1 に記載のポリオレフィンナノコンポジット材料。

【請求項 3】

層化無機物の無機分の量はポリオレフィン樹脂 (A) 100 重量部当り 0.03 ~ 3 重量部である請求項 1 に記載のポリオレフィンナノコンポジット材料。

【請求項 4】

グラフト化ポリオレフィンから選択される相容化剤をさらに含む請求項 1 に記載のポリオレフィンナノコンポジット材料。

【請求項 5】

請求項 1 に記載のポリオレフィンナノコンポジット材料の製造方法であって、

1) ポリオレフィン樹脂とナノサイズ無機充填剤 (B) とを混合することによりマスターバッチを製造すること ; 及び

2) 段階 (1) で製造したマスターバッチとポリオレフィン成分 (A) とを混合することを含む前記ポリオレフィンナノコンポジット材料の製造方法。

【請求項 6】

前記ナノサイズ無機充填剤 (B) をポリオレフィン樹脂が熔融状態のときに当該ポリオレフィンに加える、請求項 5 に記載の方法。

【請求項 7】

熔融ポリオレフィン成分 (A) に直接的に未稀釈無機充填剤 (B) を添加する一工程を含む請求項 1 に記載のポリオレフィンナノコンポジット材料の製造方法。

【請求項 8】

請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載のポリオレフィンナノコンポジット材料を含む繊維。

【請求項 9】

請求項 8 に記載の繊維を含む不織布。

【請求項 10】

請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載のポリオレフィンナノコンポジット材料を含むフィルム

。